

重要な情報



SLシャーシファームウェアの ダウンロードとPCIe64ビット BARのサポート

SLシャーシファームウェアのダウンロード

HP ProLiant Power Interface Controlユーティリティは、シャーシ電源の表示と制御機能を実行するコマンドラインユーティリティです。このユーティリティと、内蔵されているPower Management Controllerを使用して、異なる電源レベルやシャーシの消費電力上限を設定します。HP ProLiant SL270s Gen8サーバーには、SLシャーシファームウェアバージョン5.10のみを使用してください。

HP ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) またはiLO Webインターフェイスを使用して、システムの現在のファームウェアバージョンを確認します。iLO WebインターフェイスにはJavaScriptをサポートするブラウザが必要です。

RBSUでファームウェアのバージョンを確認するには、以下の手順に従ってください。

1. サーバーを起動します。
2. POST実行中にプロンプトが表示されたら、**F9**キーを押してRBSUを開始します。
3. Power Management Controllerのバージョンが5.10であることを確認します。
4. RBSUを終了するには、**Esc**キーを押します。

© Copyright 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

Windows®は、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

製品番号 : 729681-192
2013年5月
版数 : 2



729681-192

iLO Webインターフェイスでファームウェアのバージョンを確認するには、以下の手順に従ってください。

1. Webブラウザのアドレスバーに<https://<iLO>ホスト名またはIPアドレス>>と入力し、**Enter**キーを押します。
iLOのログインページが開きます。
ログインセキュリティバナー機能を使用するようにiLOが設定されている場合は、セキュリティメッセージが表示されます。
2. HP iLOのユーザー名とパスワードを入力して、**[ログイン]**をクリックします。
3. 右側のパネルで、**[情報]**、**[システム情報]**の順に選択します。
4. **[システム情報]**画面で、**[ファームウェア]**タブをクリックします。
5. SLシャーシファームウェアのバージョンが5.10であることを確認します。
6. iLO Webインターフェイスを閉じるには、**[サインアウト]**をクリックします。

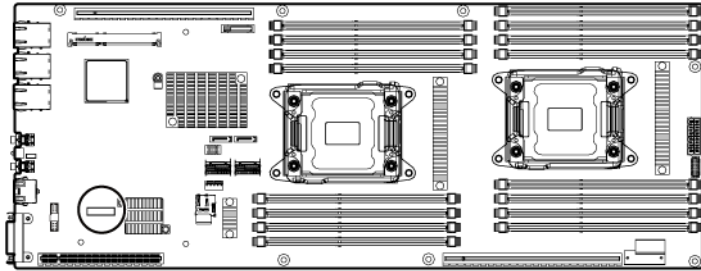
お使いのファームウェアのバージョンが不適切な場合は、オペレーティングシステムにバージョン5.10のSLシャーシファームウェアをダウンロードします。

- Linuxコンポーネント
(<ftp://ftp.hp.com/pub/softlib2/software1/sc-linux-fw/p541941489/v86903>)
- Windows x64コンポーネント
(<ftp://ftp.hp.com/pub/softlib2/software1/sc-windows-fw/p728477733/v86905>)

SLシャーシファームウェアバージョン5.10はHP ProLiant SL270s Gen8サーバー用にのみ検証されています。1つのシャーシに異なるサーバーモデルを取り付けしないでください。

PCIe 64ビットBARのサポート（大容量BAR）

システムメンテナンススイッチ9がオンの位置にある場合は、PCIe 64ビットBAR機能（大容量BAR）が有効になっています。スイッチがオンの位置にあると、この機能のRBSU設定が無効になります。



RBSUの大容量BAR機能を無効にするには、以下の手順に従ってください。

1. システムメンテナンススイッチ9をオフの位置にします。
TPMが取り付けられている場合、このスイッチはモジュールの下にあります。TPMは、取り外さないでください。精密ドライバーなどの小さくて細長い道具を使用して、スイッチの位置を動かしてください。
2. サーバーを起動します。
3. POST実行中にプロンプトが表示されたら、**F9**キーを押してRBSUを開始します。
4. [サービスオプション]メニューを表示するには、**Ctrl+A**キーを押します。
5. 下矢印キーを押して[サービスオプション]を選択し、**Enter**キーを押します。
6. 下矢印キーを押して[PCI Express 64-bit BAR Support]を選択し、**Enter**キーを押します。
7. 下矢印キーを押して[Enabled]を選択し、**Enter**キーを押します。
8. RBSUを終了するには、**Esc**キーを押します。